

# 教団新報

定 価 1 部 140 円 ( 本 体 133 円 予 共 200 円 )  
予 約 購 読 料 1 年 分 予 共 5,000 円  
紙 代 の み 3,500 円  
振 替 00140-9-145275  
本 紙 を 購 読 希 望 の 方 は 、 前 金 を そ え て 、 お 近 く の キ リ ス ト 教 書 店 へ お 申 し 込 み 下 さ い 。  
教 会 の 購 読 料 は 負 担 金 に 含 み ま す 。

発 行 所 日 本 基 督 教 団  
169-0051 東 京 都 新 宿 区 西 早 稲 田 2-3-18  
日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 03(3202)0546  
FAX 03(3207)3918  
URL http://uccj.org  
発 行 人 長 崎 哲 夫  
編 集 主 筆 渡 邊 義 彦  
印 刷 所 株 式 会 社 き か ん し



2014 年 新 年 礼 拝 越 谷 教 会 ( 関 東 教 区 埼 玉 地 区 )

見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。初めからのことを思い起こす者はない。それはだれの心にも上ることはない。  
代々とこしえに喜び楽しみ、喜び躍れ。わたしは創造する。見よ、わたしはエルサレムを喜び躍るものとして その民を喜び楽しむものとして、創造する。

イザヤ書 65 : 17 ~ 18

新しい年の歩みが始まった。この新しい年の初めに「見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する」イザヤ書 65 章 17 節との御言葉が示される。  
創世記 1 章で神の「天地創造」の業がなされたところで「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良

春  
新  
メッセージ

新しく創造されたー喜び躍れー

イザヤ書 65 章 17 節 ~ 18 節



石 橋 秀 雄

極めて良かった

かった」(創世記 1 章 31 節)と、このように記されている。「極めて良かった」天と地がなぜ再創造されなく

神の領域に踏み込む

2012 年ノーベル生理学・医学賞を受賞した京都大学山中伸弥教授の iPS 細胞の開発は、人間の細胞から精子や卵子を、豚の体内で人間の臓器を作ること

山河が奪われてもー唯一の支え

「国破れて山河あり」と言われる。戦争に負け、国が滅び、凄まじい破壊と全てを奪い尽くした戦争の悲惨の中にあっても、しかし、希望があった。山があり河がある、実りをもたらす自然がある、だから希望があると歌われる。  
しかし、原発事故は、この最後の希望である「山河」を奪う。命を支える空気と水と土地を放射能で汚染し命を脅かす。  
空気と水と土地が放射能汚染されたら命あるものは存在できない。  
日本の原発事故で示されることは、有史以来の危機、世界存続の危機である。この世界は新しく創造さ

新しい世界と人間の創造

「見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する」イザヤ書 65 章 17 節。罪の深みに落ちた人間世界を「新しく創造する」との御言葉が響き渡る。  
そして、「わたしの喜びとわたしの楽しみ」を求めることを第一とし、「神の前」に生きていることを忘れ、

神との関係を破壊した結果、本当の喜びを見失い罪の中に沈み私たちを新しく創造すると宣言される。「代々とこしえに喜び楽しみ、喜び躍れ。…その民を喜び楽しむものとして、創造する」(18 節)。  
パウロは主の十字架と復活によって「新しい人を造

り上げて平和を実現し敵意を十字架にかけて滅ぼされた」と語る。私たちは主の十字架と復活によって罪が赦され、新しい世界に、神の国に生きるものとして新しく造り変えられた。だから「喜び躍れ」と御言葉に示される。私たちは、主の十字架と復活によって「自

分の喜び、自分の楽しみ」を追い求める者から「神に喜ばれる者、神に楽しまれる者」に創造された。  
人間が危機から救われて平和の中に生きる世界は、神の創造された新しい世界を知り、その世界に生きることをよってもたらされることを尊い御言葉から教えられる。  
(第 38 総会期教団総会議長・越谷教会牧師)

子の降誕の喜びが主の受難と復活に繋がっていることをなお深く覚えたい。

ない者にも わたしは、尋ね出される者となり わたしを求めようとしないうちに、見いだされる者となった。わたしはここにいる。ここにいたのだ」と主は繰り返して語りかけ、大いなる救いと希望の道を示してくださった。  
この危機の中にいる人間に「わたしはここにいる。ここにいたのだ」と主は繰り返して語りかけ、大いなる救いと希望の道を示してくださった。

世界とわたしたちの危機に無関心な神ではあられない。  
この危機の中にいる人間に「わたしはここにいる。ここにいたのだ」と主は繰り返して語りかけ、大いなる救いと希望の道を示してくださった。

方、子供たちの素朴なクリスマスメッセージに、主の御降誕が十字架へと繋がってゆくことを聴き取った大人たちもいた。子供たちとて小さな心を緊張させて降誕劇に臨んだはずである。けれども、その子供たちの素直な言葉に、歌に、この季節を覚えるべき大切なメッセージを聴くことができたことは幸いだった。▼クリスマス

とが必要だ」と語ったというのを耳にした。人間の科学技術は神の領域に踏み込んでしまった。人間の喜びと楽しみを追い求め、神が喜ばれることを忘れ、神

「神が創造された世界を見て、極めて良かった」この神の創造の世界が破壊され、子どもたちの未来を奪う事態になりかねない。

う。▼聖夜礼拝では高校生

楽しみのみを求める存在になつてしまったからだ。  
人間が求める喜びと楽しみの極限は「神の座」に座り、神のごとくふるまうことに生きた存在であることを忘れ、自分の喜び、自分の塔のある町を建て、有名な

になろう」と言ってバベルの塔をつくった。  
人間が自分の喜びと楽しみを追い求め、神の領域に踏み込んでしまった時、滅びの危機の中に沈むことになる。

の核のゴミが世界に増え続ける。  
「神が創造された世界を見て、極めて良かった」この神の創造の世界が破壊され、子どもたちの未来を奪う事態になりかねない。

でも経験できたように思う。▼聖夜礼拝では高校生

このクリスマス  
マスの祝会には  
ハンドベル  
を演奏させて  
もらう機会が  
あった。一番  
低いベル一音だけを楽譜ど  
おりに打つてゆく。もともと  
楽器は得意なほうではない。  
冷や汗ものだった。音を  
楽しむにはほど遠かったの  
は確かだが、皆で音を合わ  
せひとつの音楽を作つてゆ  
くことの楽しさはいくらか  
でも経験できたように思  
う。▼聖夜礼拝では高校生



▼宣教委員会▲

四国教区、諸教会・伝道所訪問

第38回総会期第3回宣教委員会が11月11日～13日の日程で開催された。今回は地方教会の宣教の課題を共有し祈りを合わせるという趣旨で四国教区南予分区・高知分区の諸教会・伝道所を訪問した。

初日、四国教区伝道協議会に出席、張田眞委員長が挨拶した。八幡浜教会が開



左上から、  
構原集会所、伊予吉田教会、三間伝道所、近永教会

右上から、  
宇和島中町教会、宇和島信愛教会、八幡浜教会



でも教会を開鎖することなくこの地に福音を灯し続け、現在4～5名で礼拝を守る。教区互助を受給しつつも教師を代務者として送り出している三間伝道所（知花龍磨牧師）へ向かい、90歳を超える姉妹の教会を支える熱き祈りと証しに宣教委員会は皆、小さくない感銘を受けた。

愛南教会の矢野敬太牧師

が代務を務める宇和島中町教会は牧師招聘のために祈りを合わせている。教会付属の（宗）鶴城幼稚園も教会の伝道の働きとして大切な役目を果たしている。

宇和島中町教会で通常の委員会を開催。諸報告を受け、特に「宣教基本方針」（宣教研究所）について協議、2月の常議員会までに宣教委員会の意見を集約することにした。

近永教会 菅名弘道牧師は、互助受給教会であるが須崎教会と協力し構原（ゆすはら）伝道に取り組んでいる。それから構原集会所へ向かい、秦貴詞牧師（須崎教会）より「東津野伝道」から発展し百年を超える「構原伝道」報告を受けた。それぞれ訪問先の教会を覚え委員は担当を決めて祈った。

▼教師検定委員会▲

「検定試験受験手引き」改訂作業終了

第38総会期第4回教師検定委員会が、11月14日、教団会議室において、委員6名の出席（欠席者1名）によって行われた。

聖書朗読と渡部和使委員長の祈祷をもって委員会は開始された。

おもな議事は、2014年春季教師検定試験に向けたものとなった。

まず申請のあったコース認定・課目認定を行った。そのちに、教師検定規則第4条3号対象者の科目認定が時間をかけて行われた。

またこの委員会で、「教師検定試験受験の手引き」の改訂を終えることができ、特に大きな内容の追加や変更はないが、受験する者にとっての使いやすさ、その内容と日程が協議され、決定した。

く読み、試験に臨んでもらいたい。

また、「教師検定規則第6条⑥実施に関する件」も審議された。実施に際して、具体的などのような行いか、その内容と日程が協議され、決定した。

2015年春季教師検定試験から実施されるので、神学校を経ないで補教師試験を希望する受験者（いわゆる「Cコース受験者」）は、あらかじめ事務局に問い合わせ、内容の確認をしてもらいたい。

委員会は、今回の日程を承認し、八木浩史委員の祈祷をもって閉じられた。

（鷹澤匠報）

東北被災地クリスマス2013

仙台・石巻・遠野各センターでクリスマス集会開催



2013年12月、震災より2年9ヶ月が過ぎた。現在もお避難している人々の数は、28万人を数える。28万人という数字は、中核市（人口30万人以上）には及ばないものの、特例市人口20万人以上）をはるかに上回る数字であり、東北6県の県庁所在地と比較すれば、山形市の住民（25万人）全体が避難するより多くの人々が仮設住宅等での生活を今も続けている現実を意味している。

教団救援対策本部では、昨年に続き今年も又仙台、石巻、遠野の各センターが主催して被災地でのクリスマス集会を行った。以下、その報告である。

【エマオ仙台・エマオ石巻】

12月10日～12日にかけて、七郷中央公園仮設、荒井7号仮設、荒井2号仮設でクリスマス昼食会を行った。参加者は、計31名であった。

「エマオ仙台」は、12月10日～12日にかけて、七郷中央公園仮設、荒井7号仮設、荒井2号仮設でクリスマス昼食会を行った。参加者は、計31名であった。

【ハートフル遠野】

12月4日～21日までの3週間の間、日頃「お茶っこ」を行っている岩手県釜石市内8ヵ所の仮設住宅で、本部主催のクリスマス集会を行った。

昨年手伝って下さった入江玲子さん（救援対策本部海外デスク中国語担当・武蔵野音大音楽科卒、12月2日～6日）に加えて、今年には西谷衣代さん（東京芸大大学院オペラ科修士、12月12日～13日）も協力を申し出て下さり、素晴らしいクリスマス礼拝と祝会を持つことが出来た。

礼拝では、多くの方々が、生まれて初めて聖書を読み、祈り、讃美歌を歌い、担当幹事のクリスマス・メッセージに耳を傾けた。プレゼントは、スタッフの佐々木ムツ子さんが準備した実用品の数々を、サンタクロースに扮した柳谷雄介牧師や幹事が贈り、歓声があちらかちで挙がった。

クリスマス集会を終えて帰る際「これまでは子どもや孫たちにプレゼントを贈ってばかりだったけど、（生まれて初めてプレゼントをもらったと言われたり、「今日は（クリスマス集会に参加出来て）良い日だった」と微笑ながら眩（つぶや）かれるお年寄りの姿が心に深く残った。

被災地の現実、特に仮設住宅に住まわれている方々の心の傷は深く、重い。仮設からいつ出られるかの展望もなく、プライバシーも十分に守られることの出来ない狭い居住空間での長期にわたる生活は、心身共に限界を迎え始めている。このような方々に、たとえ少しの限られた力であっても、許される限り、寄り添い続けることが出来ればと思う。

（飯島信報）

共に祈り、支えよう！

Let us pray for and support people and the Church together!

「東日本大震災救援募金のお願い」

教会の再建・補修、地域の復興・支援に向けての具体的な取り組みを日本基督教団として支援していくため、祈りと共に「東日本大震災救援募金」にご協力を下さいますよう、お願い申し上げます。

2014 年 1 月

教団救援対策本部長 石橋秀雄

目標額 10 億円（国内のみ）  
期間 2011 年 7 月 1 日～

2015 年 3 月 31 日

振替番号 00110 - 6 - 639331

加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

写真上、釜石の仮設住宅にて。写真下、手前は集会を手伝ってくれた西谷衣代さん。



▼韓国協約・スイス協約合同委員会▲

国際会議にて被災地スタディーツアー実施

第3回韓国協約・スイス協約合同委員会が11月21日、教団会議室で開かれた。11年7月に東京で開催の予定であった日本・韓国・スイスの三国際協議会は東日本大震災の発生で中止となったため、14年3月の東日本大震災国際会議に合流して開催することになり、韓国・スイス協約合同委員会はその準備にあたっている。国際会議の期間中に、これら3国による協議と交流の機会が設けられ、各2

11年の三国際協議会にはスタディーツアーを予定していた関係で、この国際会議においても、3月14、15日の石巻・女川方面へのスタディーツアーを、韓国・スイス協約合同委員会は現地実行委員会と連携協力しつつ、あわせて担当する。特に参加者が東京に帰着した後の対応などについて具体的な検討を行った。

(石田周介報)

《東京教区・西東京教区教会幼稚園連合会 研修会》

「子ども・子育て支援新制度」に向け研修会開催

東京教区・西東京教区教会幼稚園連合会は、旧東京修会を行ってきた。



深井智朗氏による講演に聞く。

ここ数年は、夏に教師向けの研修会、秋ないし冬に園長・設置者向けの研修会を行っている。もともとは年2回、教師向けの研修会を行ってきたが、昨今の幼稚園を取り巻く状況の変化（具体的には子ども・子育て支援新制度）から必要に迫られ、園長・設置者、また教会役員などを対象にした研修を行うようになった。

去る1月13日、キリスト教会館会議室にて行われた園長・設置者研修会は、他教区からの幼稚園を含む25の教会幼稚園から38名の参加を得て、開催された。

講師は深井智朗氏（金城学院大学教授）、また、発



両委員会集い協議する。

泉 隆氏（隠退教師）



13年1月7日逝去、87歳。東京都に生まれる。51年日本基督教神学専門学校卒業、同年九十九里教会に赴任、木更津教会、大貫教会、明治学院高校を経て、87年より96年まで明治学院大学に務め、08年隠退した。遺族は、妻・泉千代子さん。

田中保夫氏（隠退教師）



13年12月8日逝去、84歳。

たときに、現在の設置形態を堅持することが、教会また幼稚園のあり方であるとの結論に至ったとした。

講演・発題後もフロアから質疑を含め、活発な発言があり、課題を共有した。新制度をめぐる各教会、幼稚園の判断について、連合会が何かの方向性を示す立場ではない。

しかし、教会幼稚園が、今まで培ってきた働きを確認し、それぞれの召しに進むために必要な情報は共有し、主のご委託に、共に応え続けていけるように祈り合っていると思うている。

(岸憲秀報)

消息

福島県に生まれる。59年日本聖書神学校を卒業、同年猪苗代教会に赴任、70年より10年まで清和伝道所を牧会し、隠退した。遺族は、妻・田中偕恵さん。

事務局報

正教師登録  
山口 恒  
(2013.11.18受接)

岡田恵美子、  
関川祐一郎、  
平賀真理子  
(2013.11.23受接)

教師異動

平和学園 辞教夏村 充  
辻堂 就代夏村 充  
聖光学院高校 辞教加藤英徳

久美愛 就代中村 眞  
八幡荒生田辞主吉新和夫

志布志 就(代)日下部道志

シンガポール日本語キリスト教会 就(外)松本章宏

ウエスレー合同メソジスト教会 就(外)山本 一

貝塚 就(主)馬路ひろみ

〃 就(担)服部泰樹

宇和島中町辞(担)山崎恵子

広畑 就(担)榎木進一

西条栄光 就(代)宇賀 充

水海道 就(担)太田光夫

南大阪 辞(担)安井直子

泉大津 就(主)崔 弘徳

教師休職

中本 純

教師隠退

添野匠二、  
吉新和夫、  
石塚 一

教師退任

小海 光、  
竹内のぞみ、  
山本直樹

教会解散

下松愛隣

伝道所開設

宇和島南

宇和島市保田甲1303

1 伝道所所在地変更

仙台南

仙台市太白区山田字船渡

前17-4

伝道所通信先変更

守谷

つくばみらい市陽光台3

129-10

教師改姓

小川文子↓ペルトラン小

川文子

関係団体承認

ウエスレー ファウンダー

シヨン

信徒伝道者異動

土佐福音 就 田島和徳

お詫び・訂正

教団新報4787号教師

委員会写真下、キャプションを「関西学院フランス記念礼拝堂」にお詫びして訂正致します。

(教師委員会)

出版局ニュース

http://www.bp.uccj.or.jp

★新刊から  
ドイツを代表する新約学者の集大成、待望の第Ⅱ巻刊行開始！

『新約聖書神学Ⅱ上』フ

エルティナント・ハー

ン・著 大貫隆・田中健

三・訳

新約聖書神学の諸課題

を取り上げ、新約聖書全

体がどのように語ってい

るのかを詳細に解説、全

体の内的関連性・統一性

を明らかにする。上巻で

は「キリスト教正典とし

ての旧約聖書」(啓示)救

済論について、その全

体像を提示。A5判上製・

642頁 ＊12000

円。

『新約聖書神学Ⅱ下続

刊』2014年度刊行予

定。

★好評発売中！

『新約聖書神学Ⅰ上』大

貫隆・大友陽子・訳 ＊

12000円

『新約聖書神学Ⅰ下』須

藤伊知郎・訳 ＊120

00円

★好評シリーズ

日本を代表する旧約学者

の集大成、大好評刊行

中！

並木浩一著作集(全3巻)

『第1巻ヨブ記の全体

像』

ヨブ記の全体像を意識

して細部を読み解くこ

とで、ヨブに神より与えら

れた新しい視点が鮮やか

に浮かび上がる。A5判

上製・338頁 ＊40

◇第9回農村伝道に関する協議会開催◇

日時 2014年2月24日(月) 13時30分

25日(火) 11時

場所 丹波新生教会(園部会堂、亀岡会堂)

木もれ日の宿日吉山の家

◎主題講演

竹ヶ原政輝牧師(丹波新生教会)

「口丹波における伝道園伝道

―丹波新生教会40年の歩みを通して―

◎発題

谷口成生氏

「胡麻の信仰と愛農」(仮題)

◎費用

教区推薦(交通費、宿泊費伝道委員会負担)

自主参加(実費自己負担)

◎申込・問合せ

教団伝道委員会

事務局e-mail

dendo-c@uccj.org

ファックス

03-3207-3918

東日本大震災国際会議

原子力安全神話に抗して  
―フクシマからの問いかけ―



◆東日本大震災3周年記念礼拝  
日時 3月11日(火) 午後2時～3時30分  
場所 東北学院大学ラーハウスー記念礼拝堂

◆東日本大震災国際会議  
日時 3月11日(火)～14日(金)  
場所 東北学院大学

◆東日本大震災国際会議記念講演  
日時 3月11日(火) 午後4時～5時30分  
場所 東北学院大学ラーハウスー記念礼拝堂  
講演 姜尚中氏(聖学院大学全学教授・東京大学名誉教授)  
《いずれも入場無料》

《参加ご希望の方は下記へご連絡ください》  
日本基督教団事務局総務部  
TEL 03-3202-0541  
メール somu-b@uccj.org





左から、メリー・P・ブライン (Mary.P.Pruyn,Mrs.)、ルイーズ・H・ピアソン (Louise.H.Pierson,Mrs.)、ジュリア・N・クロスビー (Julia.Neilson.Crosby,Miss)。

1861 年 11 月、神奈川に上陸した宣教師ジェームズ・H・バラは、7 年間の横浜生活をする中で、女性の教育が充分になされていない現実や、日本女性と外国人との間に生まれた子どもたちが、周囲から軽蔑され疎外され、物乞いや放浪している哀れな姿を見た。そこで J・バラは米国のキリスト教関係の団体に、子どもたちの救済と女子教育を強く訴えて、女性宣教師の日本派遣を熱心に要請した。

その要請に応じたのが WUMS (The Woman's Union Missionary Society of America for Heathen Lands 米国婦人一致外国伝道協会・女性のための女性のミッション) であり、3 人の女性宣教師がその要請に応えたのだった。ブラインは「キリストが私を呼んでいる (召命 = calling)」、ピアソンは「我、もし死ぬべくば、死ぬべし」(エステル記 4 章 16 節)、クロスビーは「全身全霊を注いで、主が命じられた仕事 (使命 = mission) につくため」との思いであったという。

横浜に到着した 3 人は、とりあえず山手のホテルで準備をすることにした。3 人は家探しをしていたが、気に入った家はなく、バラの持ち家である山手の四八番館を借り、1871 年 8 月 28 日、「アメリカン・ミッション・ホーム」が正式に開設された。

リーダーのブラインは 51 歳、総理として、経営と塾舎の取り締まりをする。

ピアソン 39 歳、校長兼教授。クロスビーは 38 歳、会計事務兼教授を担当する。このように事務分担が定まり、3 人は心を合わせてよいホームを作ろうと努力した。

しかし、開設してもしばらくの間は日本の少女はほとんど来なかったが、どうして来ないのかわからなかった。1871 年当時、日本では全国至る所の高札所に「切支丹宗門堅く禁制の事」という制札が掲げられていたので、日本の子どもたちが来るはずはなかった。

1871 年 10 月、当時の漢学者・文学博士として有名な中村正直 (敬宇) が、ミッション・ホームに宿泊した。

正直は、ホームの 3 人の米国女性が日本人には見られないしっかりとした躰をし、愛情を注いで幼児の世話をしているのを直接に見た。また、3 人から話を聞いて非常に感動して、我が国最初の「生徒募集・入学案内」の一文を書いて、ミッション・ホームを社会に紹介した。

『この教授所は米国婦人伝道会社が作ったもので、3 人の米国女教師が、日本人、外国人の差別なく子どもを預かって養育してくれる。通学でも寄宿でもどちらでもよい。3 歳以下の子どもは引き受けないことになっているが、母親のいない子は引き受ける。寮費と授業料は月 10 ドルから 15 ドル、通学生は月 4 ドル。女教師はみな親切で、大変子どもを愛してくれるから、

家で育てるよりもよい。』

1872 年、生徒数が増加したため、ブラインたちは広い建物と敷地を探した。山手 212 番の建物と敷地であった。横浜の最も魅力的な角地の広い土地、裏側にあたる北東には S・R・ブラウンの邸宅があった。西側は崖で、その先は日本人が住んでいた。3 人の女性宣教師は将来を見通し、勝れた先見性と決断力でこの土地を得たのである。現在横浜共立学園が建っている土地である。3 人の女性宣教師は、広い敷地に次々と校舎を新築した。

当時外国人の多い港町横浜の人口は 6 万人余に増え、活気に満ちていた。積極性のある横浜商人が多く、女子にも英語を勉強させよう、学問させよう、という気持ちが強かった。3 人の女性宣教師の来日の目的である日本女子教育は時宜に適したものであった。ホームの入学希望者が多くなってきた。

ブラインらは、英語教育を通して伝道し、日本の女性たちに新しい文明、新しい教育の光をあてようとした。入学した生徒たちは今まで知らなかった自由な明るい雰囲気、規則正しい生活、西洋流の礼儀作法、キリスト教からくる高い道徳を、先生がたから身をもって教えられた。自立の精神が知らず知らずのうちに養われた。

ミッション・ホームの日本の正式な名称は「日本婦女英学校」であったが、1875 年ごろ「共立女学校」と改称した。

## 宣教師からの声

番外編

### 横浜共立学園と 3 人の女性宣教師

坂田 雅雄

(横浜共立学園学園長)

「共立」は UNION の日本語訳であり、超教派のキリスト教学校として現在に至っている。英語と音楽の盛んなことはその当時からの学校より数段勝れていたと言われている。

日本におけるパイブルウーマンの養成機関の草分けの一つは WUMS によって、1881 年にミッション・ホームのある横浜山手 212 番地内に開設された偕成伝道女学校、後の共立女子神学校である。ピアソンは伝道の働きに専心するため共立女学校校長を辞任したい旨を申し出ていたが、適任者がいないためにしばらく両校兼務ということになった。ピアソンの人柄、伝道への熱い思いが、偕成伝道女学校を作らせ、伝道基地の設置へと伝道の働きを推し進めていったことは確かである。

ピアソンは、1891 (明治 24) 年に共立女学校をブルックハート (Harriet.I.Bruckhart) に委ねて偕成伝道女学校に専念する。彼女はそれまで以上にパイブルウーマンの養成と直接伝道に力を注ぎ、偕成伝道女学校の働きも充実していった。

その後 1907 年に偕成伝道女学校を共立女子神学校と改称し、さらに 1943 年共立女子神学校は日本女子神学校へ合同し、多くの女性牧師を排出することとなった。戦後再開された共立女子神学校は、現在の東京基督教学園に継続されている。

(教団ニュースレターより)



飯田さつきさん

### CS 教師の ジャズ界の新星



東京生まれ。恵泉女学園、東海大学社会福祉学科卒。阿佐谷東教会員。

飯田さつきさんは、両親の血筋から、それぞれ大きなものを継承している。

母方の曾祖父、丹羽源一郎牧師は、開拓伝道で能代教会を立ち上げ、祖母は、伝道師として牧師を助け、「いのちの電話」の創設に関わった。祖母の 2 人の弟、1 人の姪が牧師となった。母は教会のオルガニストを務めている。当然のように、さつきさんは、物心つかないうちから、母に連れられて、阿佐谷東教会の CS で育ち、「神様によって変えられた同世代の子に出会って」恵泉女学園の高 2 の冬、受洗した。大学生になって以来、CS 教師を務めている。

父方の祖父はベーシスト、父はジャズスクールの学院長で、父方の血筋で言えば、さつきさんは、ジャズ家系 3 代目に当たる。さつきさんは 3 歳から、ピアノ教師の母によりクラシック・ピアノを学んだが、音楽的には、父方のジャズに心を揺さぶられるようになった。14 歳から本格的に、ジャズ・ヴォーカルを学び始め、大学生時代から都内の LIVE ハウスに出演を始めた。

07 年、新人ジャズ・コンテストでグランプリを受賞。09 年には渡米して短期間だったが、ボストンのバークリー・カレッジで学び、ハーレムの LIVE に出演。翌 10 年、日本ジャズヴォーカル賞の新人賞を受賞している。

伝道キヤラバンで用瀬教会を訪問した。わたしたちは週 4 日教会に來ています。女性信徒がお昼を作ってくれて牧師館の台所で食事をしていいます」と話して下さり、牧師館を案内してくださった。

牧師館に上がるように言われて戸惑った。この教会の牧師は葉以潔先生で、中国出身の女性牧師だからだ。お昼に皆で食事をする台所のみならず、居間や寝室兼書斎まで案内されて驚いた。見事に整理されている。葉牧師が着任後、平屋の家付きの土地 150 坪を購入、この家が新牧師館として信徒

たちの力で見事にリフォームがなされた。葉牧師は中国上海の家の教会の出身だ。祖母は 100 歳で召された。伝道熱心で、葉牧師のために祈り続けられたが、天に召された。

### 週 4 日教会に 來ています

尊敬する祖母の教えは「清貧」。この教えを固く守る葉牧師の生き方に教会員のみならず地域社会でも感動と尊敬を集めていると聞かされた。葉牧師が全てを献げて教会に仕えている。だから自分たちも財と奉仕を惜しまない」と、週 4 日教会に來て奉仕し、主の恵みを受けて熱く信仰生活をする信徒の群れだ。葉牧師から日曜日から土曜日まで毎日朝、御言葉が配信され、その御言葉を聞いて信徒の 1 日の生活が始まるという。

葉牧師が赴任して 4 年間に 17 名が受洗、教会の土地は 300 坪に広がり、納骨堂も建った。人口 4300 人の山に囲まれた用瀬町に御言葉の力で教会が成長している姿を見て感動した。

(教団総会議長 石橋秀雄)